

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	係	事務事業No.	17132
事務事業名	観光総務一般経費			会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進					
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画			頁
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 いまだ不安定な景気動向をはじめ、人口減少・少子高齢化の進展など社会情勢は著しく変化しており、市の観光を取り巻く環境も厳しい状況にある。一方で、訪日外国人旅行者の増加や北陸新幹線の金沢延伸などにより、さらなる観光振興の可能性も広がってきている。これらの状況に対応するため、域外からの交流人口を増やすことに重点をおき、小売、飲食、宿泊、運輸、サービスなどの地域の幅広い業種に経済的恩恵をもたらせるようにするなど、市における観光振興施策を総合的に展開していくための計画の策定や事業を展開を行う。

事業の目的
 地域振興の新たな牽引力として重要な「観光」について、観光振興施策を展開し観光立市を実現するための取り組みを積極的に行う。
 観光審議会を開催するとともに、温泉地や自然保護、国立公園、山岳観光等の関係機関・団体等との連携を強化し、効果的かつ総合的な観光施策の推進を図る。
 東山周辺地域を重要な観光地域と位置付け、「大町市東山周辺地域観光整備計画」の推進を図る。

事業内容
 観光審議会の開催、各種団体と連携し事業を展開する。
 H26年度 大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画
 H27年度 大町市東山周辺地域観光整備計画
 H28年度 大町市健康振興計画の策定、観光戦略業務委託、大町市東山周辺地域観光整備計画

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費(決算額)	8,391千円	11,493千円	7,762千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	8,391千円	11,493千円	7,762千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	観光審議会の開催	回	4	1	0	2	—	2
②	東山周辺地域観光整備計画懇話会	回	2	4	0	1	—	1
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	観光施策等の策定	本	1	1	0	1	—	1
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 次期、観光振興計画については、専門コンサルタントに策定業務を委託したいと考えている。H27とH28に実施する観光マーケティング調査のデータや山田桂一郎先生の観光戦略業務委託の内容を基にした計画の策定に務める。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	低い	高い	一部重複	普通
点数	3	1	3	2	2	2
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)				
	今後の方向性	やり方改善 現在、観光審議会は必要に応じて随時開催し、観光振興計画の策定のほか、観光の振興に関する重要事項について調査・検証・審議を行っている。 今後は、H27・28に実施したマーケティング調査の評価・検証をはじめ、H28~29に掛けて山田桂一郎先生に業務委託した、観光戦略のアドバイスの内容を反映する形で、観光審議会の意見も含めながら専門コンサルタントに観光振興計画の策定業務を委託し、当市の現状に即した計画を策定する。 観光は、観光関係者だけでなく他の事業者とも密接な関わり合いがあるため、観光施策を策定する上で他の計画と整合性を図りながらの計画策定に努めたい。				
	評価点合計	13 / 18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17133
事務事業名	観光施設管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
観光客及び市民が安全・安心して利用できる観光施設の適切な維持管理と老朽化した施設の改築、改修を行う。

事業の目的
観光施設の適正な維持管理のために、施設改修・更新を計画的に実施する。
大町市アミューズメントハウス及び大町温泉郷森林劇場については、指定管理者制度を導入して経費の節減を図ると共に、民間による創意工夫に基づいた利用者の拡大に努める。

事業内容
観光施設及び温泉管の維持管理、新設、修繕等
指定管理：大町市アミューズメントハウス、大町温泉郷森林劇場
H26年度 扇沢市営第2駐車場、若一王子神社公衆トイレ改築、塩の道観光案内看板（中綱神社）ほか
H27年度 大町市アミューズメントハウス配管ポンプ交換工事、三十三番札所案内標柱 ほか
H28年度 登山道吊橋修繕工事、扇沢市営第一駐車場駐輪場設置工事、大町市アミューズメントハウス給水加圧ポンプ更新工事 ほか

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費（決算額）	113,127 千円	58,877 千円	59,393 千円
		国庫支出金			
		県支出金	37,516 千円		4,000 千円
		起債			
		その他財源			
	一般財源	75,611 千円	58,877 千円	55,393 千円	

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	管理施設	箇所	8	8	8	8	100.0%	8
	②								
③									

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）		
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	修繕施設	箇所	11	15	9	10	90.0%	10
	②	新設工事	箇所	4	1	1	1	100.0%	1
	③								
	2. 数値で表せない効果	(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
年次計画による観光施設（トイレ等）の整備・修繕計画の作成ができていないのが課題である。H30からは大町市アミューズメントハウス等の施設について、実施計画に反映し年次改修を実施していきたい。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	一部重複	普通	適正である
	点数	3	3	2	2	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	やり方改善	緊急性や有効性などの優先度を把握する中から、観光施設の計画的な改修を行い、財源については補助事業や有利な起債等の活用にも努める。特に、大町市アミューズメントハウスの給水管については、計画的な改修が必要なため実施計画に反映した事業実施に努めていく。利用者からのニーズ把握にも努め、可能な範囲で要望を取り入れた施設整備・運営を図っていく。					
	評価点合計	15 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17134
事務事業名	登山道改修補助事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 「山の日」が制定され、これを機に山への関心も一層高まるものと思われる。山岳観光都市として、貴重な山岳環境を保全し次世代に引き継いでいくため、また、全国から訪れる登山者を迎え入れていくため安全な登山活動ができるように登山道の維持管理を行う。

事業の目的
 山岳関係者と協議し登山道の重点整備箇所を選定し整備・改修を行う。
 また、山小屋関係者と登山道等の維持管理について協議を行い、安全で良好な登山道の維持管理に努める。

事業内容
 H26年度整備箇所 針ノ木岳登山道
 H27年度整備箇所 プナ立登山道、餓鬼岳登山道、針ノ木岳登山道、竹村新道周辺登山道
 H28年度整備箇所 竹村新道周辺登山道、プナ立登山道、針ノ木岳登山道

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	765千円	3,036千円	3,468千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	765千円	3,036千円	3,468千円

指標名		単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年度（H28） 目標値	達成率 （%）	次年度（H29） 目標値
①	登山道改修要望	箇所	1	4	3	3	100.0%	3
②								
③								

1. 数値で表せる指標		単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年度（H28） 目標値	達成率 （%）	次年度（H29） 目標値
①	登山道整備箇所	箇所	1	4	3	3	100.0%	3
②	登山者数	人	88,300	83,700	73,900	89,000	83.0%	78,000
③								
2. 数値で表せない効果		（指標）						

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 現在は山小屋関係者と連携して登山道改修の支援を行っているが、今後、国・県の補助事業等を活用した登山道整備が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	低い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	1	2	3	2	2
評価 今後の 方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	やり方改善 評価点合計	平成28年度からの「山の日」の制定や以前制定された「信州山の日」などを契機とし、登山に訪れる観光客が増えることを考慮するとともに、客層も老若男女と幅広い方々が訪れるため、登山者の安全を考慮した整備が望まれている。 平成27年度から補助金の交付要件等を見直し、より数多くの登山道整備を対象とできるようにした。また県や国の補助金等の活用を図り、より充実した山岳環境の整備を推進する。				
	13	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興係	事務事業No.	17141				
事務事業名	宣伝誘客イベント事業			会計	一般会計				
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1	目	4
施策目標	次代とニーズに対応した観光の推進								
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画	大田市観光振興計画				頁	
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
観光関係者・地元住民等との協働によるイベント開催と誘客宣伝及びパブリシティ活用を目的に、各種イベントの開催や運営支援を行った。

事業の目的
住民参加や地域、観光従事者などと連携した取り組みにより、行政主導のイベントではなく大都市の特色を生かしたイベント事業を実施する。
イベント実行委員会による企画・運営を行うことにより、官民一体となった「協働のまちづくり」が実践し、観光客の宣伝誘客に寄与する。

事業内容
アルペンルートオープンカーニバル、塩の道祭り、針ノ木岳慎太郎祭、若一王子神社夏祭り、木崎湖花火大会、紅葉トレッキングや雪まつり等の開催支援を行った。また、大田市観光協会等と連携し、新たなイベント開催の検討に取り組んだ。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	60,552 千円	62,146 千円	56,178 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	60,552 千円	62,146 千円	56,178 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	イベント実行委員会	5	5	6	5	120.0%	5
②	各種イベント	3	3	3	3	100.0%	3
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	オープンカーニバル	421	400	127	400	31.8%	50
②	塩の道まつり	710	940	1,066	1,000	106.6%	1,100
③	トレッキングイベント	70	321	292	350	83.4%	350
2. 数値で表せない効果							
(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
立山黒部アルペンルートの6月以降の閑散期における誘客対策が最大の課題と認識している。今後の方向性で示してあるような方法を取り入れていきたい。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	高い	重複なし	高い	改善の余地あり
点数	2	2	3	3	3	2
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	やり方改善	立山黒部アルペンルートオープンカーニバルについては、6月の閑散期対策としてに佐々成政武者行列を29年6月10日に実施する。北アルプス国際芸術祭をフックとした、誘客イベント、また市街地への誘導につながるような仕組みづくりを検討したい。				
	評価点合計					
方向性	15	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興係	事務事業No.	17142				
事務事業名	観光振興事業			会計	一般会計				
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1	目	4
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進								
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画					頁	
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 観光客の増大等の観光振興を図るため、市観光協会など観光関係者をはじめ各種協議会、事業者などと連携し誘客宣伝事業を展開した。
 観光客の多様なニーズに対応するため、目的に応じたパンフレットを作成するとともに、テレビやラジオ、旅行雑誌、新聞、ホームページなどを通じて観光情報を発信した。
 また、周辺自治体や関係団体等と連携し、広域的な観光客の受け入れを図り滞在型周遊型の観光を推進する。

事業の目的
 本市の魅力ある観光資源の情報を積極的に国内外に発信し、滞在型周遊型の観光誘客に取り組むことで観光入込数を増やし観光消費額増加につなげる。
 観光消費額の増大による地域振興と活性化を目指し、観光客の受け入れ体制を強化するとともに、観光案内の充実や、広域観光拠点をつなぐ2次交通の整備など、広域観光の推進に取り組む。

事業内容
 観光案内や宣伝等の充実のための市観光協会への支援、観光団体と連携した観光キャンペーンの展開、2次交通の整備による受入体制の強化、パンフレット等の印刷物やテレビ・ラジオなどのマルチメディアを通じた観光情報の発信、周辺自治体等と連携した広域観光の推進を行った。またインバウンド事業は、台湾・ASEANを中心に誘客活動を行い、市内での文化体験ができるカルチャープログラム事業等を行った。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費(決算額)	88,729千円	47,343千円	54,857千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	17,229千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	88,729千円	30,114千円	54,857千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	市観光協会HPアクセス	件	446,819	587,606	512,544	600,000	85.4%	600,000
②	市観光協会案内(窓口・電話)	件	23,309	28,200	26,012	28,500	91.3%	28,000
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	観光入込数	千人	2,771	2,811	2,724	3,100	87.9%	2,800
	②	観光消費額	億円	117	122	117	130	90.0%	120
	③	黒部ダム外国人観光客数	千人	192	214	243	215	113.0%	250
2. 数値で表せない効果		(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 市内及び広域連携の二次交通の整備・拡大が課題である。市域では「ぐるりん号」の検証と今後の方針の確立。広域連携では「信州まつもと空港」から、また北陸新幹線「糸魚川駅」からの利便性の向上が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	一部重複	高い	改善の余地あり
点数	3	2	3	2	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	拡大	観光は、当市の基幹産業の一つであり他産業の振興や雇用など地域経済への波及効果は大きい。ため、継続して誘客宣伝に取り組む必要がある。 また、市観光協会や協議会等が主体となって観光イベントや誘客キャンペーン、情報発信などを行っているが、今後も継続して連携と支援をするとともに、組織全体の見直しと強化を図り、協会のあり方を検討する。インバウンドについては、入込は依然として好調であったが、「室堂・雪の大谷」期間外での誘客について、今後も、立山黒部貫光(株)や関電と連携し、台湾の中心に、タイなどのASEAN諸国の更なる誘客に結び付ける。またスマホ利用者の急増により、HPのスマホ対応を検討する。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興係	事務事業No.	171422
事務事業名	緑越明許費観光振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 4
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 観光客の増大等を広域的な観点から観光振興を図るため、大町市・白馬村・小谷村で組織する北アルプス三市村観光連絡会において、地域創生加速化交付金活用事業として展開した。（北アルプス三市村観光連絡会に負担金として支出）
 アルペンライナー1,000千円 / ナイトシャトル2,500千円 / 自転車活用環境整備事業1,666千円

事業の目的
 3市村の魅力ある観光資源の情報を積極的に国内外に発信し、滞在型周遊型の観光誘客に取り組むことで観光入込数を増やし観光消費額増加につなげる。
 観光消費額の増大による地域振興と活性化を目指し、広域観光拠点をつなぐ2次交通の整備など、広域観光の推進に取り組む。

事業内容
 アルペンライナー・・・・・・7/9~8/28 51日間 扇沢=コルチナ間 1日4往復 事業主体：アルピコ交通
 ナイトシャトル・・・・・・12/23~2/28 毎日運航 白馬4路線・小谷・大町 各1路線
 自転車活用環境整備事業・・・・自転車活用整備に関する現地調査、サイクリングマップ作成、電動アシスト自転車レンタ
 ル事業（10/9~11/13）

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費（決算額）	千円	千円	5,166千円
		国庫支出金	千円	千円	5,166千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円	

活動指標	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	達成率	目標値
							(%)	
	① アルペンライナー	便（往復）		4	4	—	—	2
	② ナイトシャトル	便（往復）		1	1	—	—	0
③ 貸出自転車	台				5	—	—	5

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① アルペンライナー	人		3,728	2,703	—	—	3,000
	② ナイトシャトル	人		146	207	—	—	0
	③ レンタサイクル利用者	人			10	—	—	100
2. 数値で表せない効果 （指標）								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	低い	高い	重複なし	低い	改善の余地あり
点数	3	1	3	3	1	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	2次交通については、当地域の観光振興を図るうえで、重要度が高いが、一方で財源の課題がある。今回は国の交付金を活用したが、今後の展開については、やり方改善が必要である。H28実績を鑑み、アルピコ交通では、H29のアルペンライナーは2便に減らしつつ、運行期間を拡大した。ナイトシャトルについては、昨年実績を上回ったものの利用が少ないため、H29は大町路線の運行は実施せず、運行形態の見直しや、代替策を今後検討したい。自転車を活用した観光振興策については、先進である白馬村・小谷村と連携しつつ、どのような組織・展開が大町市にとって良いのかを早急に検討する必要がある。				
	評価点合計	13	18				